

プリオン病サーベイランス研究 調査票をダウンロードしてエクセルで開いたときに「このファイルのソースが信頼できないため、Microsoftによりマクロの実行がブロックされました」となった場合の対処法をバージョン別に説明します。

(1) Excel のバージョンが Excel 365 / 2021 / 2019 / 2016 の場合

方法 1: ファイルのプロパティでブロックを解除

1. エクセルを閉じた状態で、問題のファイルがあるフォルダを開く。
 2. 対象のファイルを右クリック → [プロパティ] を開く。
 3. [全般] タブの下部にある「セキュリティ」欄を確認。
 4. 「このファイルは他のコンピューターから取得したもので、ブロックされる可能性があります」というメッセージが表示されている場合、[許可する] にチェックを入れる。
 5. [OK] をクリックし、ファイルを開く。
-

方法 2: 信頼済みの場所に保存

1. エクセルを開く。
2. [ファイル] → [オプション] → [セキュリティセンター] → [セキュリティセンターの設定] を開く。
3. [信頼できる場所] を選択し、[新しい場所の追加] をクリック。
4. マクロ付きのファイルを保存するフォルダを選択し、信頼済みのフォルダに設定。
5. [この場所のサブフォルダーも信頼する] にチェックを入れ、[OK] をクリック。
6. ファイルをそのフォルダに移動して開く。

* なお、最近のバージョンでは「セキュリティセンター」ではなく「トラストセンター」の名称に変わっております。

方法 3: マクロのセキュリティ設定を変更

1. [ファイル] → [オプション] → [セキュリティセンター] → [セキュリティセンターの設定] を開く。
 2. [マクロの設定] を選択。
 3. 以下のいずれかを選択：
 - [警告を表示してすべてのマクロを無効にする] (推奨)
 - [すべてのマクロを有効にする] (セキュリティリスクあり)
 4. [OK] をクリックし、エクセルを再起動。
-

(2) Excel のバージョンが Excel 2013 / 2010 の場合の対処法

1. [ファイル] → [オプション] → [セキュリティセンター] → [セキュリティセンターの

設定]を開く。

2. **[マクロの設定]**を開き、次のいずれかを選択：
 - **[警告を表示してすべてのマクロを無効にする]**（推奨）
 - **[すべてのマクロを有効にする]**（セキュリティリスクあり）
 3. **[信頼できる場所]**にファイルを保存することで回避可能。
-

(3) Excel のバージョンが Excel 2007 の場合の対処法

1. **[Office ボタン]** → **[Excel のオプション]** → **[セキュリティセンター]** → **[セキュリティセンターの設定]**を開く。
 2. **[マクロの設定]**で、**[警告を表示してすべてのマクロを無効にする]**を選択。
 3. **信頼できる場所**にファイルを保存。
-

(4) Excel のバージョンが Excel 2003 の場合の対処法

1. **[ツール]** → **[オプション]** → **[セキュリティ]** タブ → **[マクロ セキュリティ]**を開く。
2. **[セキュリティレベル]**を**[中]**に設定（または、**[低]**にするが非推奨）。
3. ファイルを開いた際に、**マクロの有効化**を選択する。